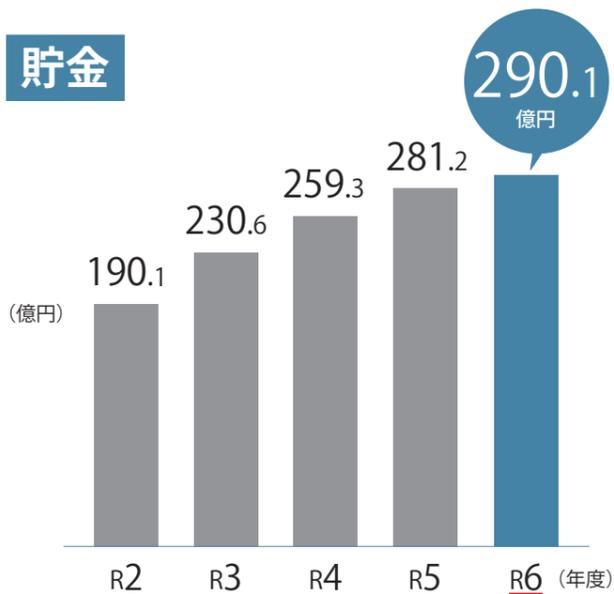


お金のやりくり 貯金と借金

貯金と借金は、中期財政計画に取り組み目標を定めており、毎年度の決算状況を踏まえながら、将来を見据えた財政健全化に継続して努めています。

貯金



貯金にあたる基金の残高は、好調なふるさと応援寄附金の積立などで、前年度から8.9億円増加し、290.1億円になりました。

借金

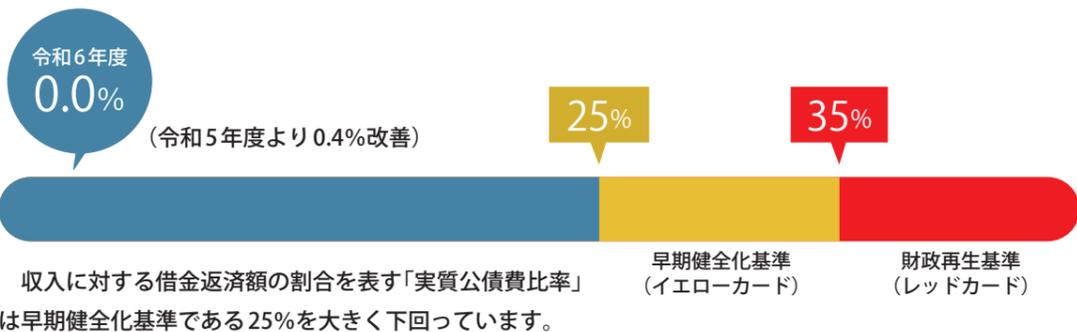


借金にあたる市債の残高は、新規借入の抑制や借金の繰上償還により、8.9億円減少し、201.9億円になりました。

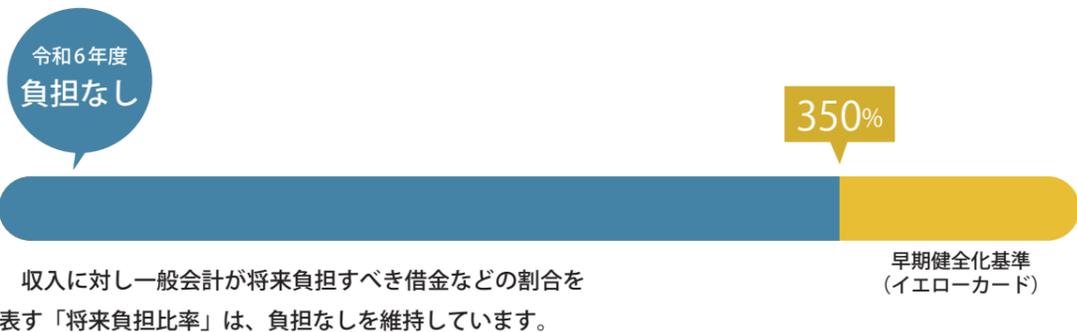
財政は健全です。

地方公共団体の財政の健全化に関する法律の施行により、健全化判断比率などの公表が義務付けられています。各比率とも健全化基準を下回っており、財政状況が健全であることを示しています。

実質公債費比率



将来負担比率



各会計の決算は、次の通りです。

会計	歳入	歳出
普通会計	524億1,328万7千円	513億1,631万2千円
一般会計	523億9,536万3千円	512億9,868万5千円
文化会館事業	7,727万5千円	7,697万8千円
国民健康保険	75億329万5千円	74億8,440万2千円
後期高齢者医療	12億9,586万3千円	12億9,285万9千円
介護認定審査会共同設置事業	3,334万円	3,334万円
介護保険事業 (保険事業勘定)	69億3,067万円	68億6,798万9千円
介護保険事業 (サービス事業勘定)	1,088万円	1,088万円

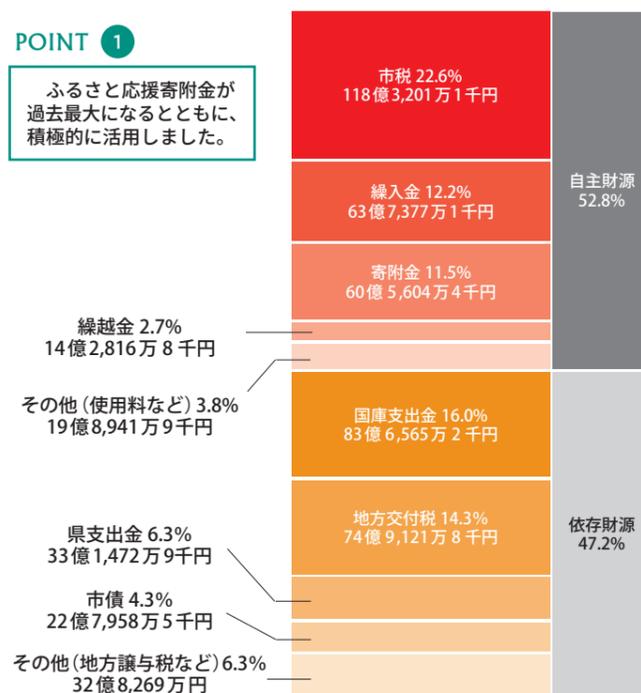
(普通会計間の取引経費は重複するため、控除して集計しています)

公営企業会計	収益	費用
病院事業会計	150億9,229万1千円	162億853万4千円
水道事業会計	16億6,891万3千円	14億8,685万5千円
下水道事業会計	19億6,366万9千円	19億1,537万円

歳入総額 524億1,328万7千円 歳出総額 513億1,631万2千円

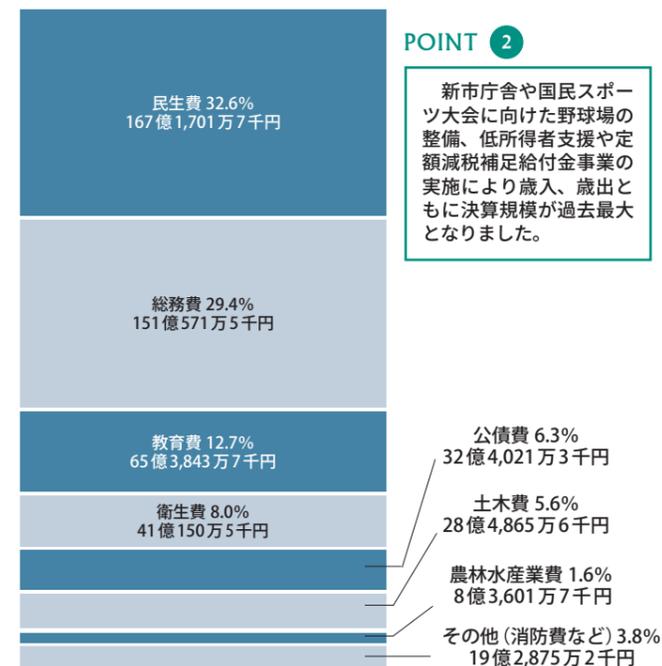
POINT 1

ふるさと応援寄附金が過去最大になるとともに、積極的に活用しました。



POINT 2

新市庁舎や国民スポーツ大会に向けた野球場の整備、低所得者支援や定額減税補足給付金事業の実施により歳入、歳出ともに決算規模が過去最大となりました。



問 財政課 TEL (36) 5750・FAX (32) 3237

令和6年度は、『夢と愛を育み、いざ出陣実行予算』として位置付け、「子ども・子育て支援」、「高齢者生きがい」、「安心安全な生活基盤強化」、「活力ある地方創り」、「GX・DX推進」をキーワードにバランスよく事業を実施しました。

詳しい内容は市ホームページで / HP 28285

決算は、9月の市議会第3回定例会に上程し、決算特別委員会で審議されたのち、12月の第4回定例会で認定予定です。

1年間の成果

令和6年度もさまざまな事業を実施しました。その一部をご紹介します。

新しい庁舎の整備



12億562万6千円

市庁舎整備工事は、令和8年1月の供用開始に向けて実施設計を完成し、基礎工事や鉄骨工事などを行いました。

安土コミュニティエリアの整備

2億8,347万3千円

整備用地（安土小学校・コミュニティセンター・消防分団詰所・放課後児童クラブ）の取得を完了しました。建物の最終配置計画を決定し、造成・建築設計に着手しました。進捗状況は、二次元コードから確認いただけます。



安土福祉センターに指定福祉避難所を整備

613万3千円

医療機器を常時使用する重度身体障がい児者などが直接避難できる市直営「指定福祉避難所」を新設しました。電気自動車のバッテリー電気を施設に使用できる設備工事（V2H）のほか、ポータブル電源、ソーラーパネルやワンタッチパーテーションなどの備品整備を行いました。※直接避難には、個別避難計画の作成が必要です。



あかこんバスの運行充実

1億2,380万5千円

市民バス（あかこんバス）は、従来の運行に加え、土曜日運行を令和6年4月から開始し、利便性の向上を図りました。

家計応援商品券を配布

2億6,031万円

エネルギーや食糧品などの物価高騰対策として、全市民を対象に、市内の店舗で利用できる「家計にプラス“たすカル”チケット」を1人あたり3,000円配布しました。



全国からいただいた「ふるさと応援寄附金」を活用



「ふるさと応援寄附金」を活用した事業の一部をご紹介します。

省エネ家電の買換えを支援

1億2,535万3千円

ふるさと応援寄附金 全額充当



家庭における温室効果ガス排出量の削減により脱炭素社会を実現するために、家庭で消費電力量が高いエアコンや冷蔵庫など、一定の基準を満たす省エネ製品への買換えを支援しました。

武佐診療所を整備

2,858万3千円

ふるさと応援寄附金 全額充当



利用者の声

「これまで、他地域の診療所に通っていた。明るくきれいな診療所が近くにできて助かります」



早期発見と早期治療により市民の健康と重症化予防につなげるため、0次予防センター2階に武佐診療所を開設しました。

生徒の声

「支援員とお話するのが楽しい」「思いを吐き出せるようになって、よかった」



安全で快適に利用できるスポーツ施設

22億5,814万9千円

内ふるさと応援寄附金 5億4,105万1千円



▲運動公園野球場「カローラ滋賀はちまんスタジアム」



▲改修した床で東レアローズの選手とバレーボールで交流

スポーツを推進するため、運動公園の野球場や広場、体育館の改修工事のほか、あづちマリエートの照明設備の改修、サン・ビレッジ近江八幡の床・トイレ改修工事などを行いました。これらの施設は、国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会の競技施設としても活用されます。

就学前施設の遊具を更新

2,219万8千円

内ふるさと応援寄附金 1,582万1千円



▲安土幼稚園

みんなと遊べてうれしい



▲老蘇こども園

老蘇こども園、武佐こども園、馬淵こども園、安土幼稚園の老朽化が進んでいた複合型遊具を撤去し、新しい遊具を設置しました。園児たちは新しい遊具に大はしゃぎでした。

スペシャルサポートルームを運営

1,585万7千円

内ふるさと応援寄附金 987万1千円

登校しても教室に入れない、入りづらい児童生徒の居場所として、公立小中学校にスペシャルサポートルームを設置し、支援員を配置しました。

